

# LIXIL オーバードアS 直昇電動タイプ センサー柱 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

## 安全に関する記号 記号の意味



**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

## 一般情報に関する記号



**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

## <施工の前に>



**注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。



**ポイント**

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

## <施工上のご注意>



**注意**

- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が垂鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

## <施工上のご注意>

### ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
  - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
  - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。  
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
  - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
  - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。  
免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
  - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
  - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通り組付けてください。製品の強度等、性能を低下させる場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。



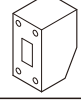
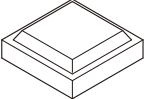
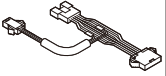


## <電気配線工事について>

### 注意

- AC100V電線の埋設工事、配線作業に関しては電気工事店の有資格者に依頼してください。
- 施工には、別途過電流保護付漏電ブレーカーおよび埋設用PF管（呼び径14）、電源ケーブル、アース棒が必要となりますので、用意してください。
- 電動用電線ケーブルは必ず、過電流保護付漏電ブレーカーに接続してください。
- 電動支柱（支柱）には必ずアース（D種接地工事）をとってください。

## ■梱包明細表

### 【1】センサー柱セット

名 称	略 図	員 数
センサー柱（投光側）		1
センサー柱（受光側）		1
センサーフード		2
センサー柱キャップ		2
センサーケーブル		1
【1-1】 オールアンカー		8
【1-2】 M4×10トラス小ネジ		8

# 1. 各部の名称

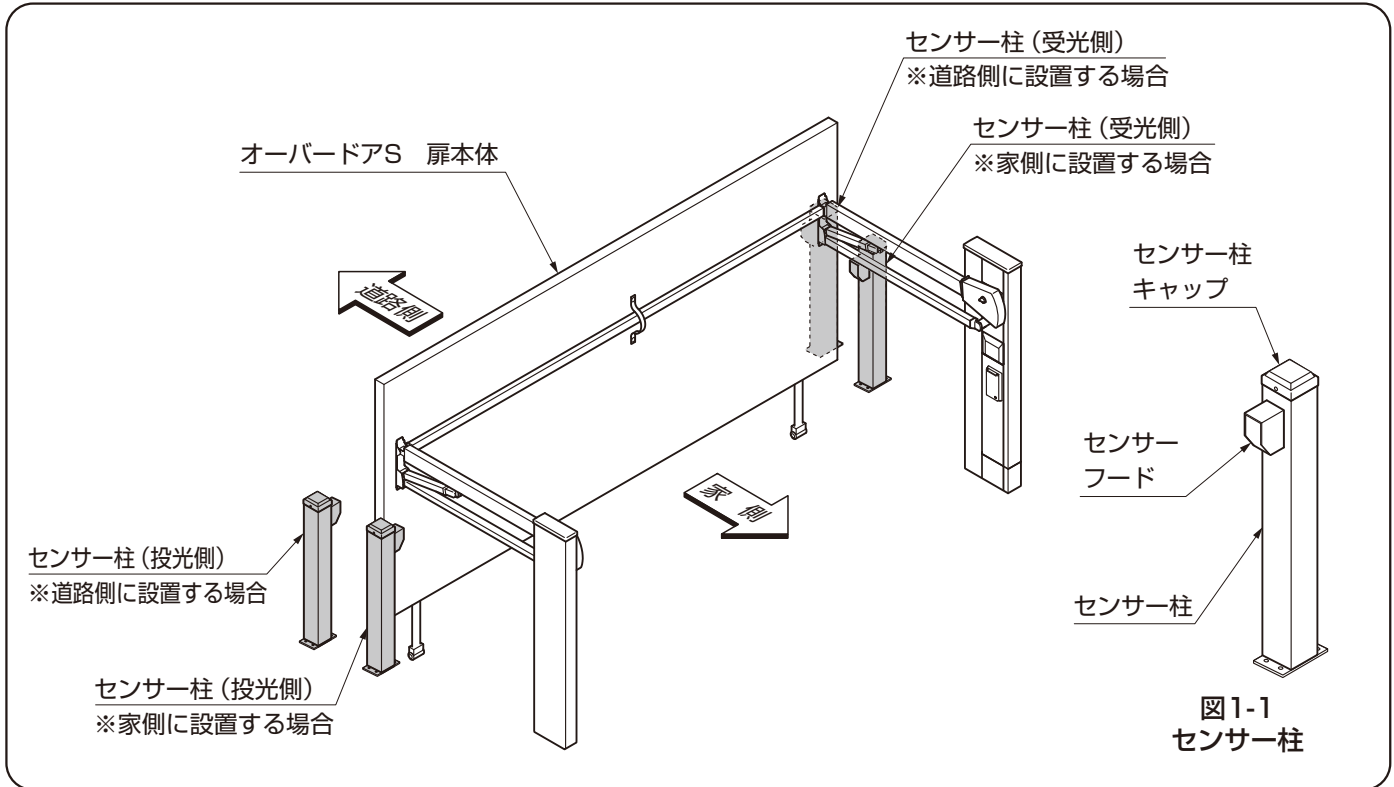


図1-1  
センサー柱

# 2. 基本寸法 ※図はオーバードアS ハイルーフトタイプを示します。

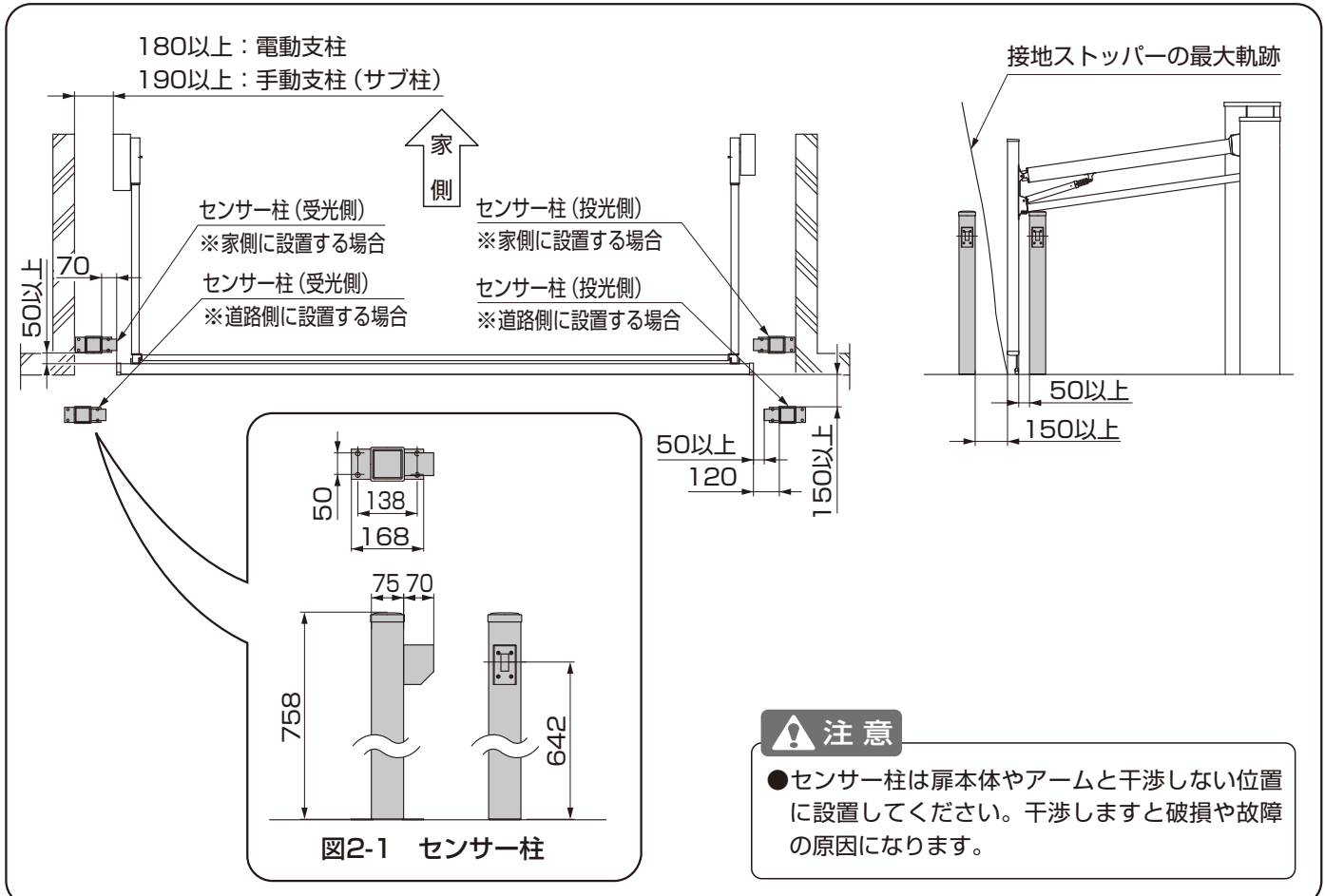


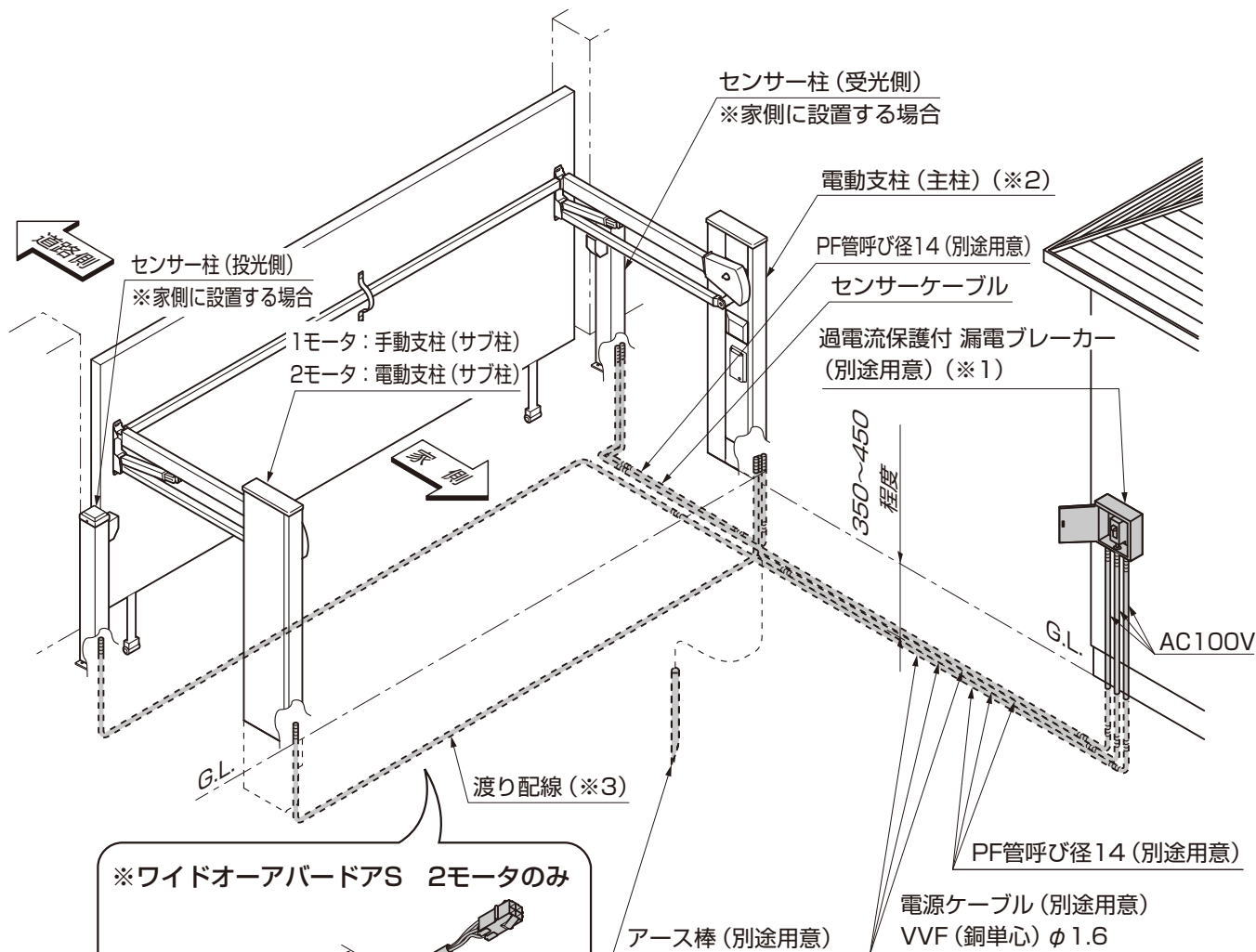
図2-1 センサー柱

**注意**  
●センサー柱は扉本体やアームと干渉しない位置に設置してください。干渉しますと破損や故障の原因になります。

### 3. 配線工事

#### ⚠ 注意

- AC100V線の施工に関しては、電気工事の有資格者に依頼してください。
- 配線作業中は必ず漏電ブレーカーが切れた状態で行なってください。



※ワイドオーバードアS 2モータのみ

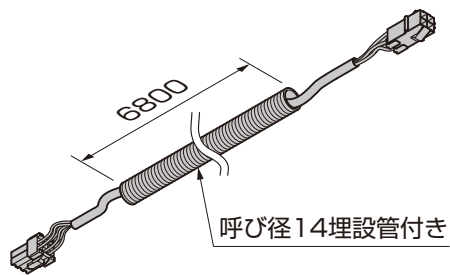


図3-9 渡り配線 (左右はありません)

#### ⚠ 注意

- 電源用電線ケーブルは必ず過電流保護付漏電ブレーカーに接続してください。(※1)
- 電動支柱 (主柱) には、D種接地工事を行なってください。(※2)

#### 🔑 ポイント

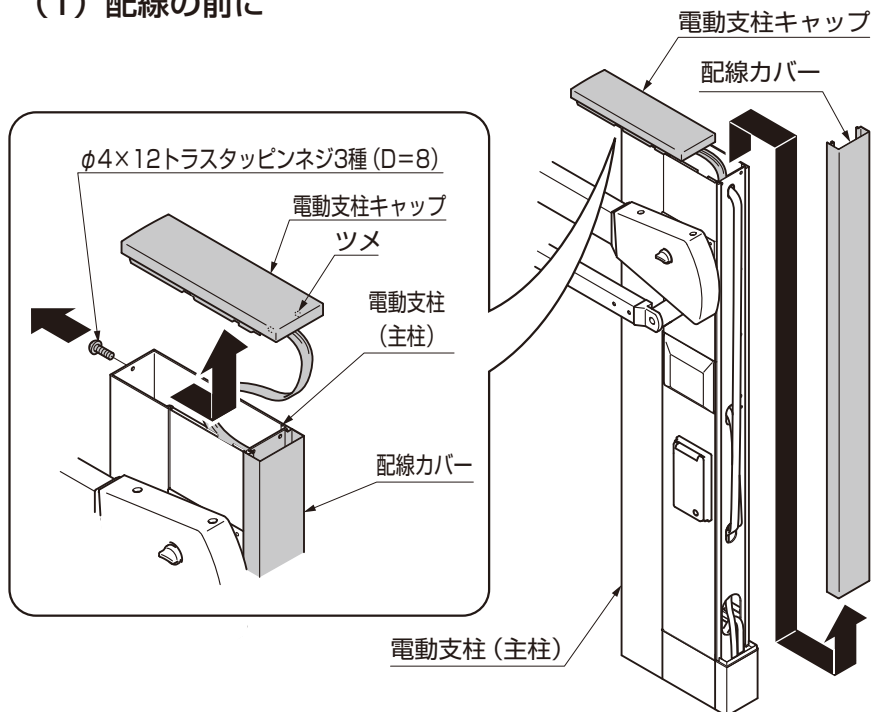
- 施工には、別途過電流保護付漏電ブレーカーおよび埋設用PF管 (呼び径14)、電線ケーブル、アース棒が必要になりますのでご用意ください。
- 渡り配線はワイドオーバードアS 2モータのみ必要になります。(※3)



## 5. (つづき)

### 5-2 電動支柱(主柱)の配線

#### (1) 配線の前に



- ①「φ4×12トラスタッピンネジ3種(D=8)」を取外し、電動支柱キャップを電動支柱(主柱)からスライドさせて取外してください。
- ②配線カバーを電動支柱(主柱)から取外してください。

#### ポイント

- 配線が終了後は、逆の手順で配線カバーと電動支柱キャップを取付けてください。

#### 注意

- 電動支柱キャップの取付けの際に、センサーケーブルをはさまないように注意してください。また電動支柱(主柱)内に納める際に、駆動部品に絡まないように注意してください。断線やショートにより、作動不良の原因になります。

#### (2) センサーケーブルの接続

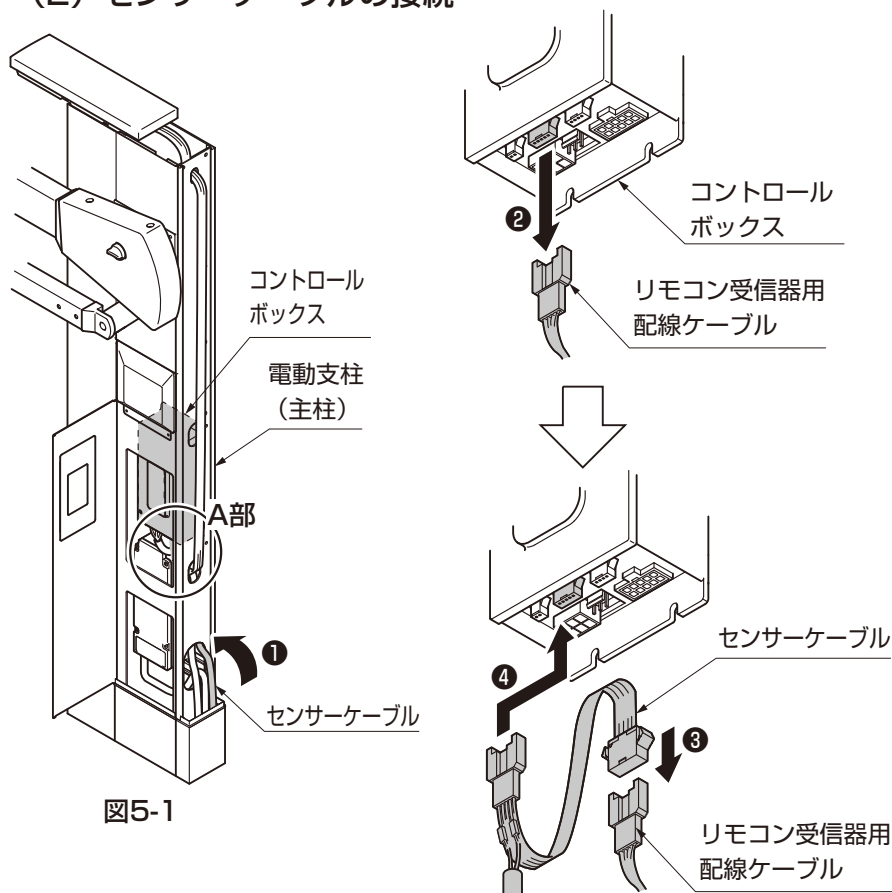


図5-1

図5-2 A部詳細図

- ①センサーケーブルを電動支柱(主柱)内に通してください。(図5-1参照)
- ②コントロールボックスからリモコン受信器用配線ケーブルを取外し、センサーケーブルを接続してください。(図5-2参照)
- ③センサーケーブルをコントロールボックスに接続してください。(図5-2参照)

#### ポイント

- 配線工事完了後に漏電ブレーカーを入れてください。

## 6. センサーについて

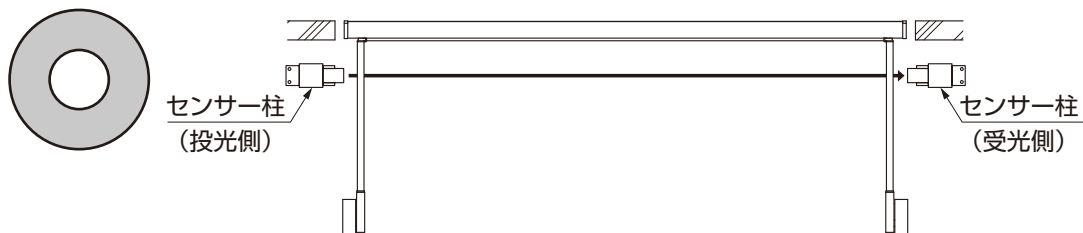


図6-1



図6-2

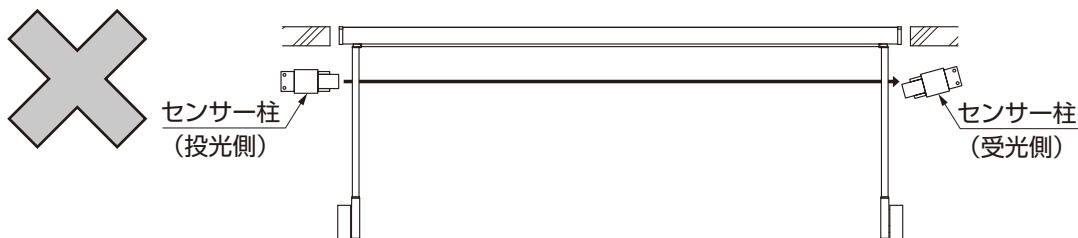


図6-3

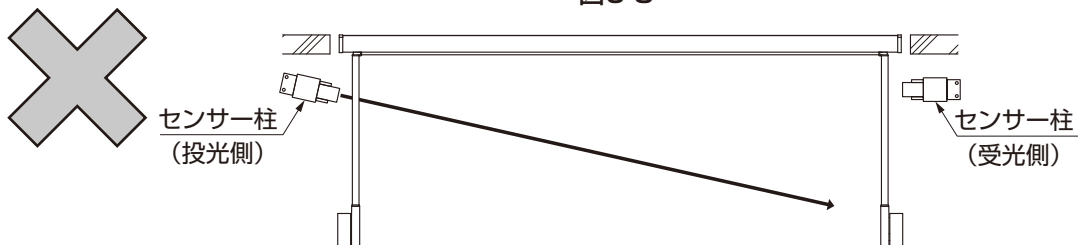


図6-4

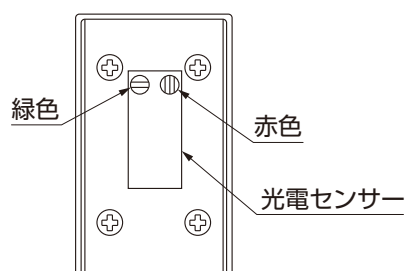


図6-5 センサー柱 (受光側)

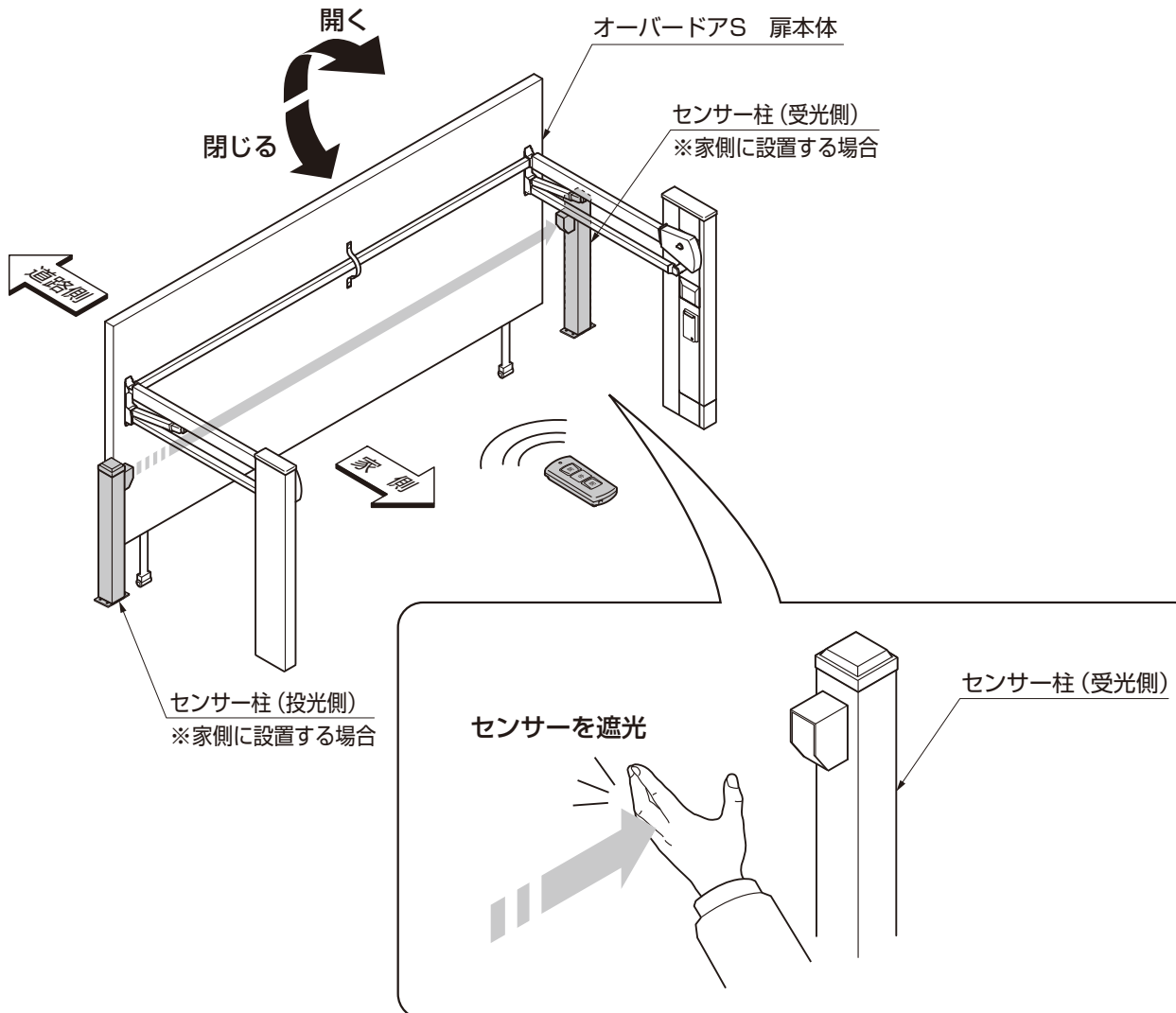
①センサー柱 (投光側) とセンサー柱 (受光側) の光軸を合わせるように組付けてください。

### 🔑ポイント

- センサーの特性上、図6-2、6-3、6-4のような組付け時には、センサーが誤作動したり、扉が開閉しなくなりますのでセンサーは必ず光軸を合わせて取付けてください。(図6-2、6-3、6-4参照)
- センサー柱 (受光側) には緑と赤のLEDがあります。(図6-5参照)
- 緑色のみ点灯している時・・・光軸が一致している状態
- 緑色と赤色が点灯している時・・・光軸が一致していない状態



## 7. 施工後の点検



- ①センサー柱内の透過型光電センサーが障害物を検出した場合、扉は停止します。センサーの確認方法として、手などでセンサーを遮光し扉が確実に停止するかテストを行なってください。停止後、引き続き開閉操作を行なうと扉は作動します。

### ⚠ 注意

- 点検をする時は、オーバードアSのアームの下に立ち入らないでください。立ち入ると、ケガをするおそれがあります。

取説コード

**D531**

JZZ621773D  
201102A\_1039  
201607E\_1039